

個人投資家さま向け 会社説明会

2026年9月16日



(証券コード8368)

1991年4月	株式会社百五銀行 入行
2016年12月	同行 菰野支店長
2019年6月	同行 経営企画部長
2021年6月	同行 執行役員経営企画部長
2022年6月	同行 執行役員資金証券部長
2023年6月	同行 取締役常務執行役員
2025年6月～	同行 取締役専務執行役員 (代表取締役)

取締役専務執行役員（代表取締役）
浦田 康寛



百五銀行の投資魅力を4つの視点でご説明します

01

愛知・三重を地盤とする強固な営業基盤

02

金利上昇を追い風とした収益力向上

03

地域課題解決と中期経営計画による成長

04

増配を中心とした株主還元の充実

愛知・三重を地盤とする地域金融機関

商号	株式会社百五銀行
上場（証券コード）	東証プライム・名証プレミア (8368)
創立	1878年11月19日
代表者	取締役頭取 杉浦 雅和
従業員数	2,828名
総資産	7兆6,306億円
資本金	200億円
発行済株式の総数	254,119千株
格付け	A（格付投資情報センター）

（2026年3月31日現在）



百五銀行 岩田本店棟

株式会社百五カード

クレジットカード業務および信用保証業務

百五リース株式会社

リース業務

株式会社百五総合研究所

地域産業調査およびコンサルティングに関する業務

株式会社百五デジタルソリューションズ

システムの企画・開発・運営、ICT事業

百五証券株式会社

金融商品取引業務

百五ビジネスサービス株式会社

現金などの精査整理業務

百五ハートフルサービス株式会社

文書・帳簿などの保管・管理業務および印刷に付随する業務

百五不動産調査株式会社

担保不動産の調査および評価業務

百五オフィスサービス株式会社

預金・為替などの後方事務

百五スタッフサービス株式会社

職業紹介業務および労務管理業務

百五みらい投資株式会社

投資事業有限責任組合（ファンド）の組成・運用業務

株式会社百五デジタルアソシエイト

システム関連業務・人材派遣業務

株式会社百五銀行

2028年11月、百五銀行は創立150周年へ

- － 1878年の創立以来、地域の発展とともに歩んできました
- － 2028年11月の創立150周年へ向け、新たな成長ステージへ挑戦します

1878～

藤堂高泰ら旧藩士が
中心となり、第百五
国立銀行を設立

1897～

普通銀行への改組

1924～

岩田川畔に本店
を新築移転

1968～

本店を津市伊予
町に新築移転

2015～

本館ビル岩田本
店棟・丸之内本部
棟竣工

2023～

創立145周年

2028

創立150周年

1882年
伊勢商人の当行
経営参画

1894年
第五代頭取
川喜田四郎兵衛
が就任



1901年
津市大門に本店を
新築移転

1920年
初の都市部進出とな
る名古屋支店開設



1952年
福寿定期預金100
億円達成

1964年
東京支店開設

1978年
創立100周年

1996年
企業理念制定



2019年
百五スマホバンキング
アプリの取扱開始

2020
預金総額5兆円突破



2024年
預金総額6兆円突破
総貸出金5兆円突破

2025年4月
中期経営計画
「未来への挑戦」開始



愛知・三重を中心に広がるネットワーク

地域に根ざした金融サービスを提供

— 愛知県・三重県を中心に店舗網を展開し、法人・個人のお客さまを幅広く支援しています

店舗数 国内**145店舗**（102拠点）

※2026年3月末時点

【その他エリア店舗】
東京営業部
大阪営業部
和歌山県（新宮支店）

【海外駐在員事務所】
上海駐在員事務所
バンコク駐在員事務所

愛知県

21店舗
（20拠点）

【エリア内営業担当者数】

208人

三重県

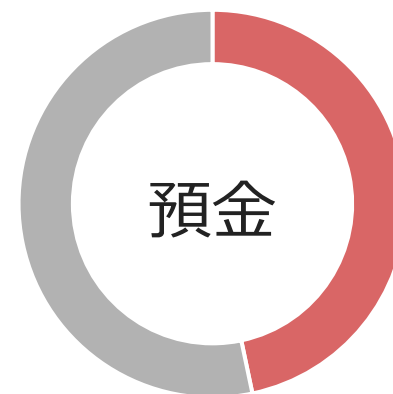
121店舗
（79拠点）

【エリア内営業担当者数】

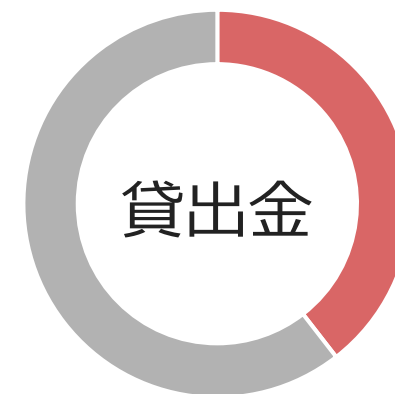
531人

■ 預金と貸出金の三重県シェア ※2026年3月末時点

46.7%



39.5%



■ 三重県内メインバンク調査

調査開始以降**17年連続 1位**

	メインバンク 社数	社数 前年比	シェア	順位
百五銀行	10,278社	+252社	44.79%	1位

出所：帝国データバンク 三重県・「メインバンク」動向調査（2025年）

■ 製造品出荷額

単位：億円

順位	2021年 1月～12月		2022年 1月～12月		2023年 1月～12月		2024年 1月～12月	
1	愛知県	478,945	愛知県	524,098	愛知県	580,217	愛知県	593,144
2	大阪府	186,058	大阪府	202,489	静岡県	197,732	大阪府	198,049
3	神奈川県	173,751	静岡県	190,290	大阪府	193,430	静岡県	197,716
4	静岡県	172,905	兵庫県	183,402	神奈川県	184,794	兵庫県	194,948
5	兵庫県	165,023	神奈川県	182,317	兵庫県	184,617	神奈川県	187,059
6	埼玉県	142,540	千葉県	158,925	埼玉県	153,296	千葉県	159,871
7	茨城県	136,868	茨城県	148,595	千葉県	152,931	埼玉県	153,069
8	千葉県	130,967	埼玉県	147,997	茨城県	150,067	茨城県	152,066
9	三重県	110,343	三重県	118,667	三重県	121,136	三重県	130,243
10	広島県	99,439	広島県	106,922	福岡県	116,167	福岡県	114,989
岐阜県	20位	61,164	20位	65,417	20位	67,201	20位	69,454

出所：経済構造実態調査 製造業事業所調査「地域別」統計表データ／経済産業省大臣官房調査統計グループ構造・企業統計室

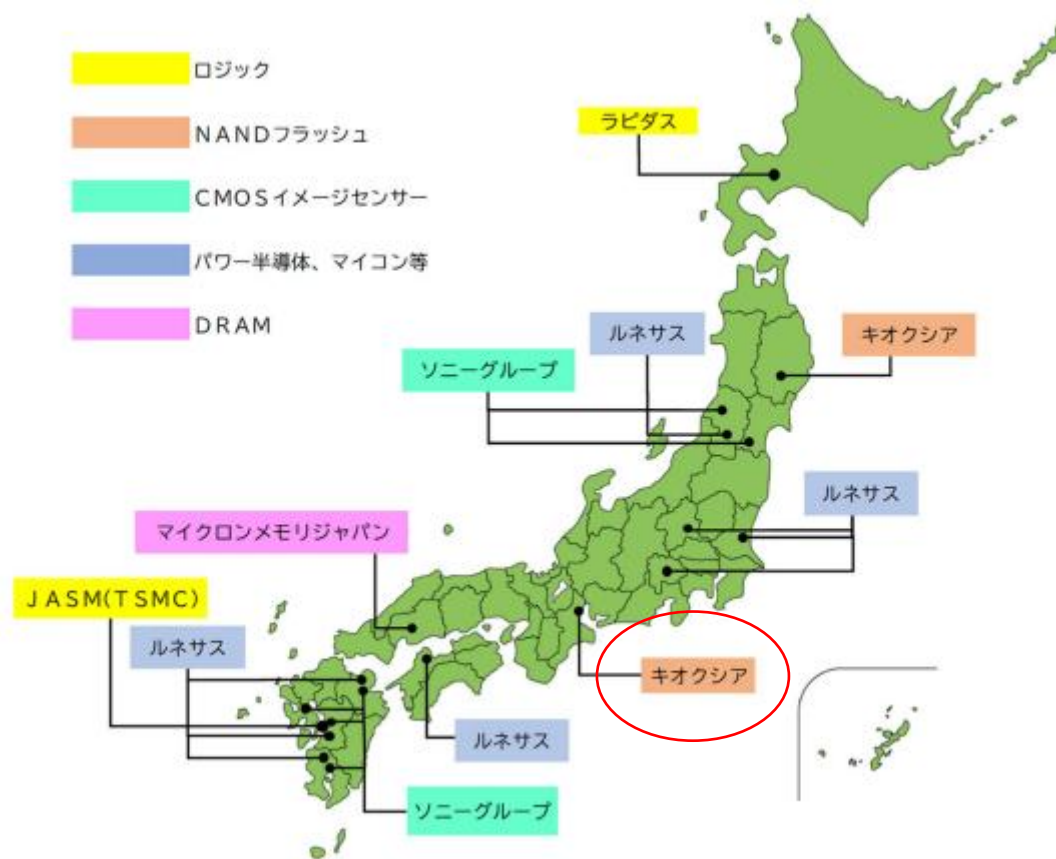
■ 電子部品・デバイス・電子回路製造業 製造品出荷額

単位：億円

順位	2021年 1月～12月		2022年 1月～12月		2023年 1月～12月		2024年 1月～12月	
1	三重県	18,750	三重県	18,993	三重県	17,864	三重県	18,994
2	長野県	9,461	長野県	9,717	愛知県	11,017	愛知県	10,703
3	山形県	7,051	山形県	7,511	長野県	9,143	長野県	8,563
4	広島県	6,936	宮城県	7,081	山形県	9,065	宮城県	7,634
5	宮城県	6,173	広島県	6,002	宮城県	7,126	長崎県	7,560
6	大阪府	5,815	滋賀県	5,497	広島県	5,913	広島県	6,426
7	京都府	5,317	福島県	5,479	福島県	5,903	山形県	6,303
8	福島県	5,214	京都府	5,393	秋田県	5,058	秋田県	5,776
9	滋賀県	5,003	秋田県	5,130	京都府	4,864	福島県	5,620
10	秋田県	4,368	岩手県	5,039	滋賀県	4,704	京都府	4,950
岐阜県	26位	2,809	23位	3,211	29位	2,856	28位	2,833

三重県は半導体を中心とした電子部品デバイス製造業の日本一の集積地

半導体デバイスメーカー製造拠点



半導体部素材メーカー製造拠点



出所：内閣府 地域課題分析レポート（2024年夏号）

当期純利益は2期連続で過去最高益を更新

2025年度決算サマリー（連結）

（億円）	25/3	26/3	前年 同期比
業務粗利益	672	648	▲24
資金利益	666	778	+112
役務取引等利益	144	134	▲10
その他業務利益	▲138	▲264	▲126
コア業務純益	283	394	+111
経常利益	257	370	+113
親会社株主に帰属する 当期純利益	180	268	+87

経常利益

370億円
（前期比+113億円）

当期純利益

268億円
（前期比+87億円）

2027年3月期第1四半期決算の概要

通期計画に向けて順調なスタート

2027年3月期第1四半期決算（単体）サマリー

（億円）	25/6	26/6	前年 同期比	26/9 （予想）
業務粗利益	115	84	▲30	322
資金利益	155	194	+39	376
役務取引等利益	23	23	▲0	43
その他業務利益	▲63	▲133	▲70	▲97
コア業務純益	54	92	+37	163
経常利益	52	108	+56	181
四半期純利益 ※26/9は中間純利益	40	77	+37	127

【予想に対する進捗】

	26/9 予想比	27/3 予想比
経常利益	60.0%	27.4%
四半期純利益	61.2%	28.1%

【主な増益要因】

貸出金利息・有価証券利息の増加などにより本業の
収益力が向上

（億円）	25/6	26/6	前年 同期比
貸出金利息	143	172	+28
有価証券利息 配当金	53	84	+30

2027年3月期 決算予想（公表計数）

連結、単体ともに当期純利益は3期連続で最高益を更新する見込み

単体

(億円)	26/3	27/3 (予想)	増減額
業務粗利益	589	672	+ 82
資金利益	785	776	▲ 9
役務取引等利益	90	88	▲ 2
その他業務利益	▲ 287	▲ 193	+ 94
コア業務純益	375	356	▲ 19
経常利益	353	397	+ 43
当期純利益	258	277	+ 18

連結

(単位：億円)	26/3	27/3 (予想)	増減額
経常利益	370	412	+ 41
親会社株主に帰属する 当期純利益	268	289	+ 20

2026/6に政策金利が0.25%上昇したことによる
資金利益への影響額シミュレーション

2026年度 影響額 0億円
2027年度 影響額 33億円
2028年度 影響額 50億円

※2026年度は預金コストが先行して増加するため、影響額は
軽微と予想

預金、貸出金ともに堅調に増加 着実な残高成長が継続

総預金残高※1
(2026年3月末時点)

6兆2,784億円

東海3県に本店を置く地方銀行中

2位※2

総貸出金残高
(2026年3月末時点)

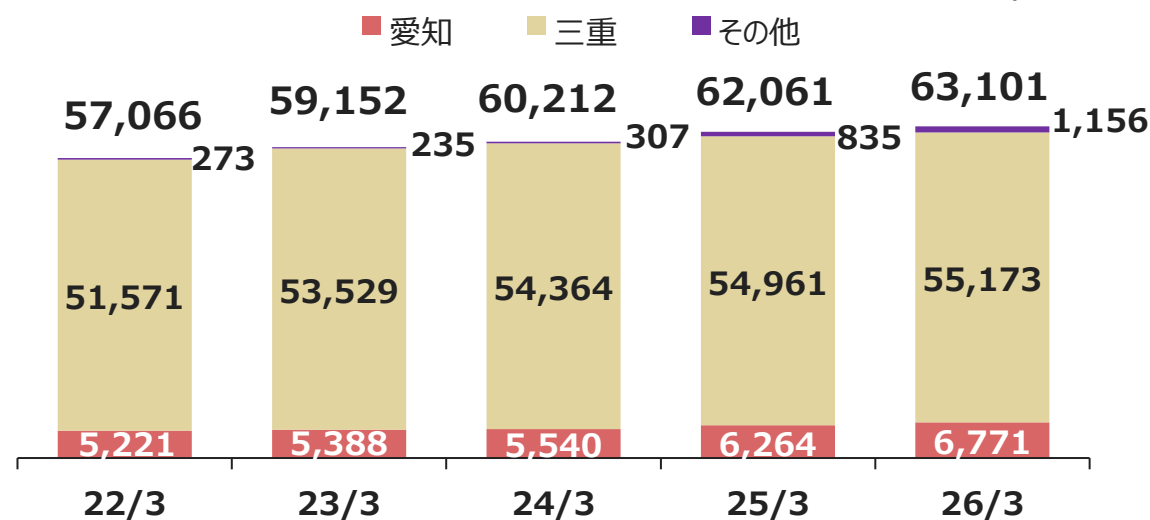
5兆1,656億円

東海3県に本店を置く地方銀行中

1位※2

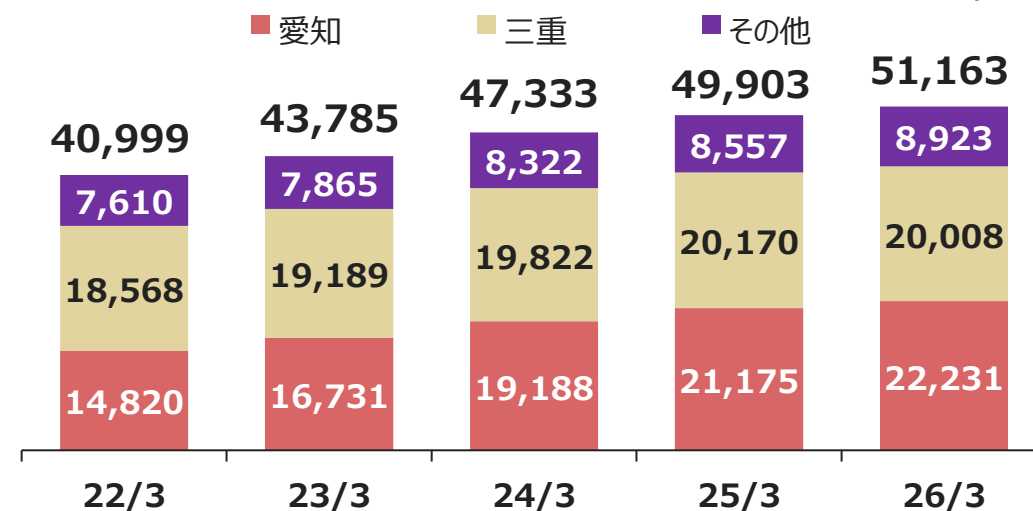
■ 総預金（平均残高）推移

(億円)



■ 総貸出金（平均残高）推移

(億円)



※1 総預金には譲渡性預金を含む

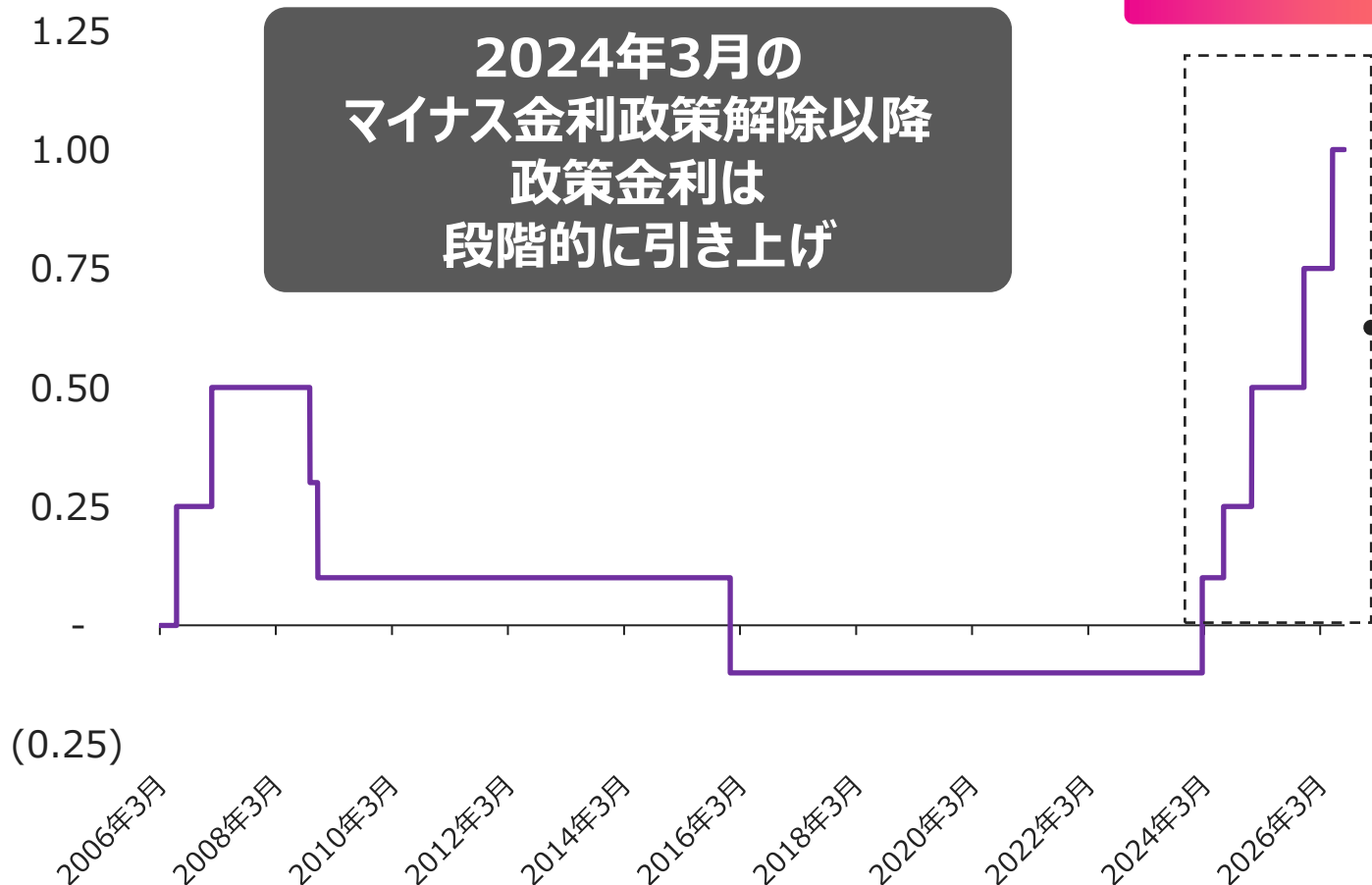
※2 各行決算短信資料より当行調べ

銀行を取り巻く環境は大きく変化

政策金利は段階的に上昇し、銀行を取り巻く収益環境は大きく変化

■ 日本銀行 政策金利の推移

(%)



2024年3月 0.10%

2024年7月 0.25%

2025年1月 0.50%

2025年12月 0.75%

2026年6月 1.00%

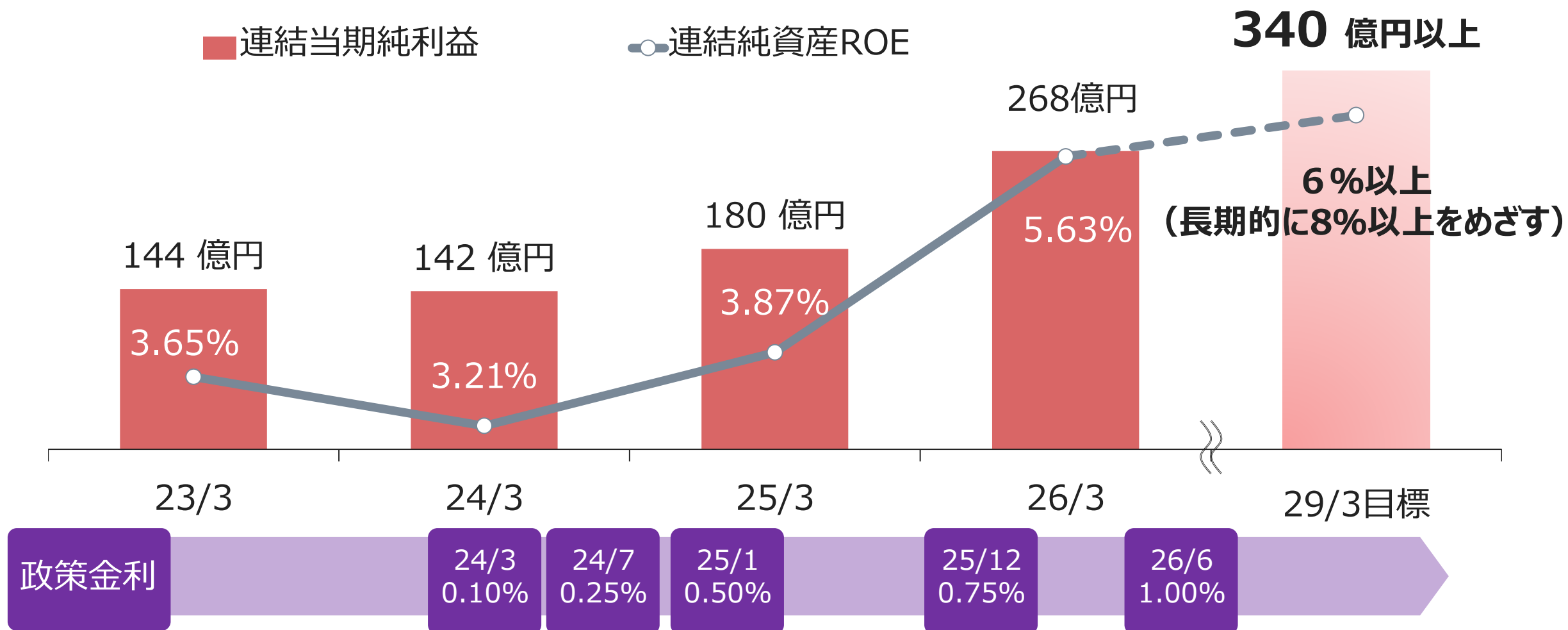
2026年9月 ???%

利上げは加速する可能性

金利上昇は収益拡大の追い風

金利環境の変化は、銀行の収益構造に大きな影響を与える

政策金利0.75%前提



金利が上がると銀行収益はなぜ増えるのか

資金利益が増加することで収益が拡大

資金利益

1

= 資金運用収益（貸出金利息や有価証券配当金など）

2

－ 資金調達費用（預金利息など）

金利が上昇すると...

プラス影響

1 資金運用収益増加

✓ 貸出金利息の増加

✓ 債券利息の増加

>

プラス影響が
マイナス影響を
上回ること
で
資金利益は増加

マイナス影響

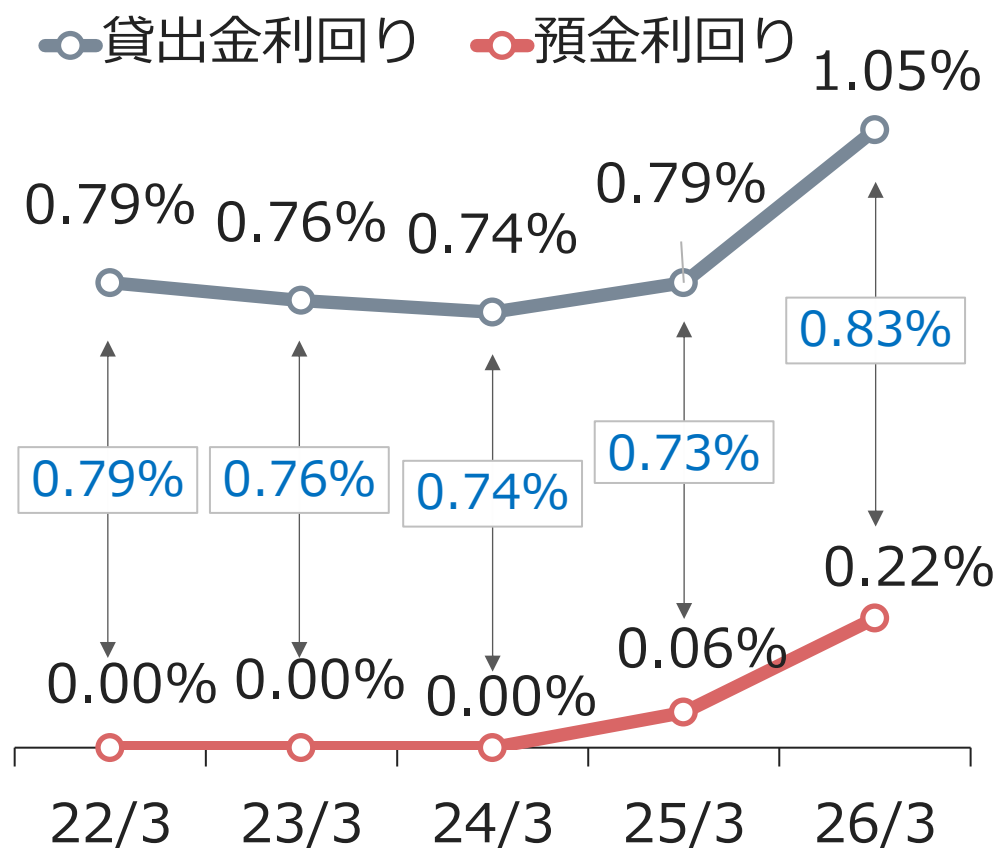
2 資金調達費用増加

✓ 預金利息の増加

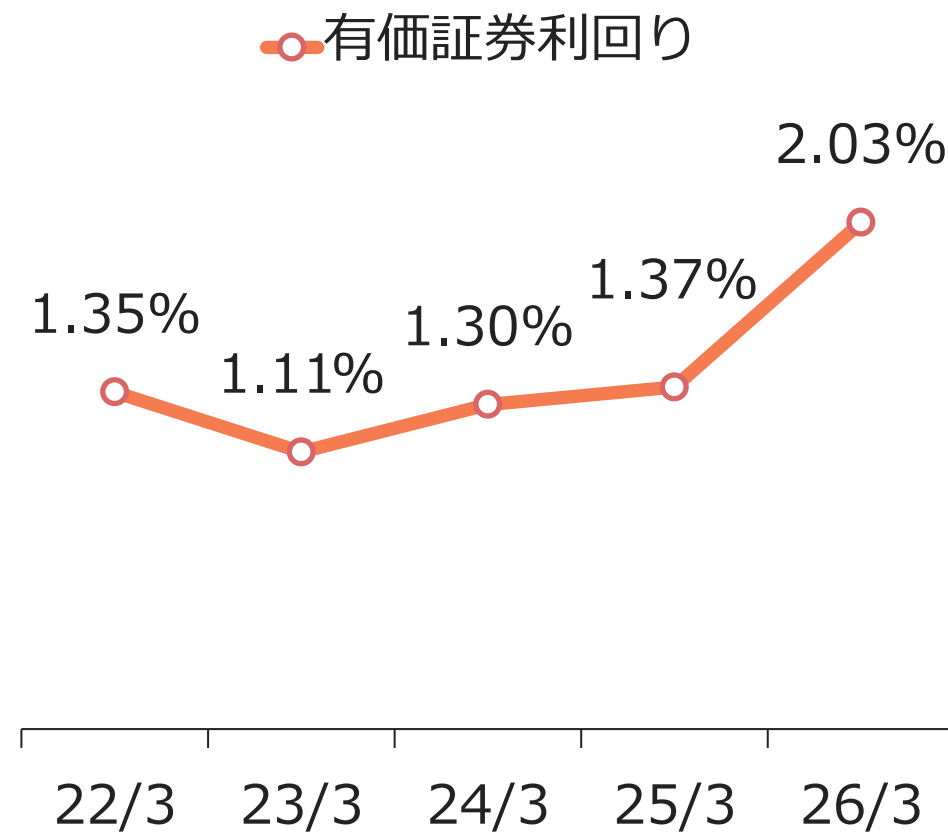
✓ 市場調達費用の増加

貸出金利回り・有価証券利回りが改善

■ 預貸金利回り推移（国内）



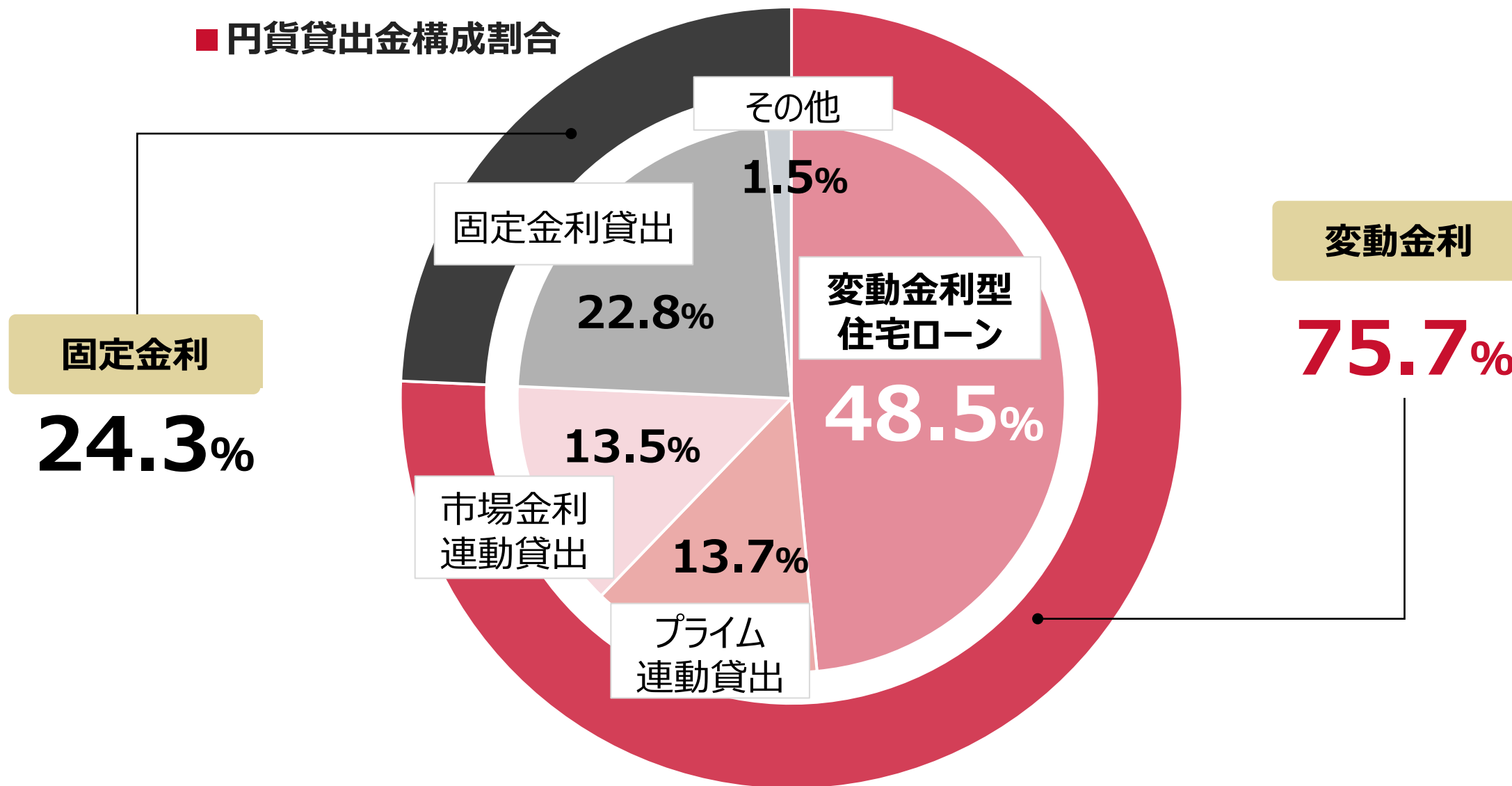
■ 有価証券利回り推移（国内）



百五銀行の貸出金構成における特徴

貸出のうち約半分が変動金利型住宅ローンであり、金利上昇の恩恵を受けやすい

■ 円貨貸出金構成割合



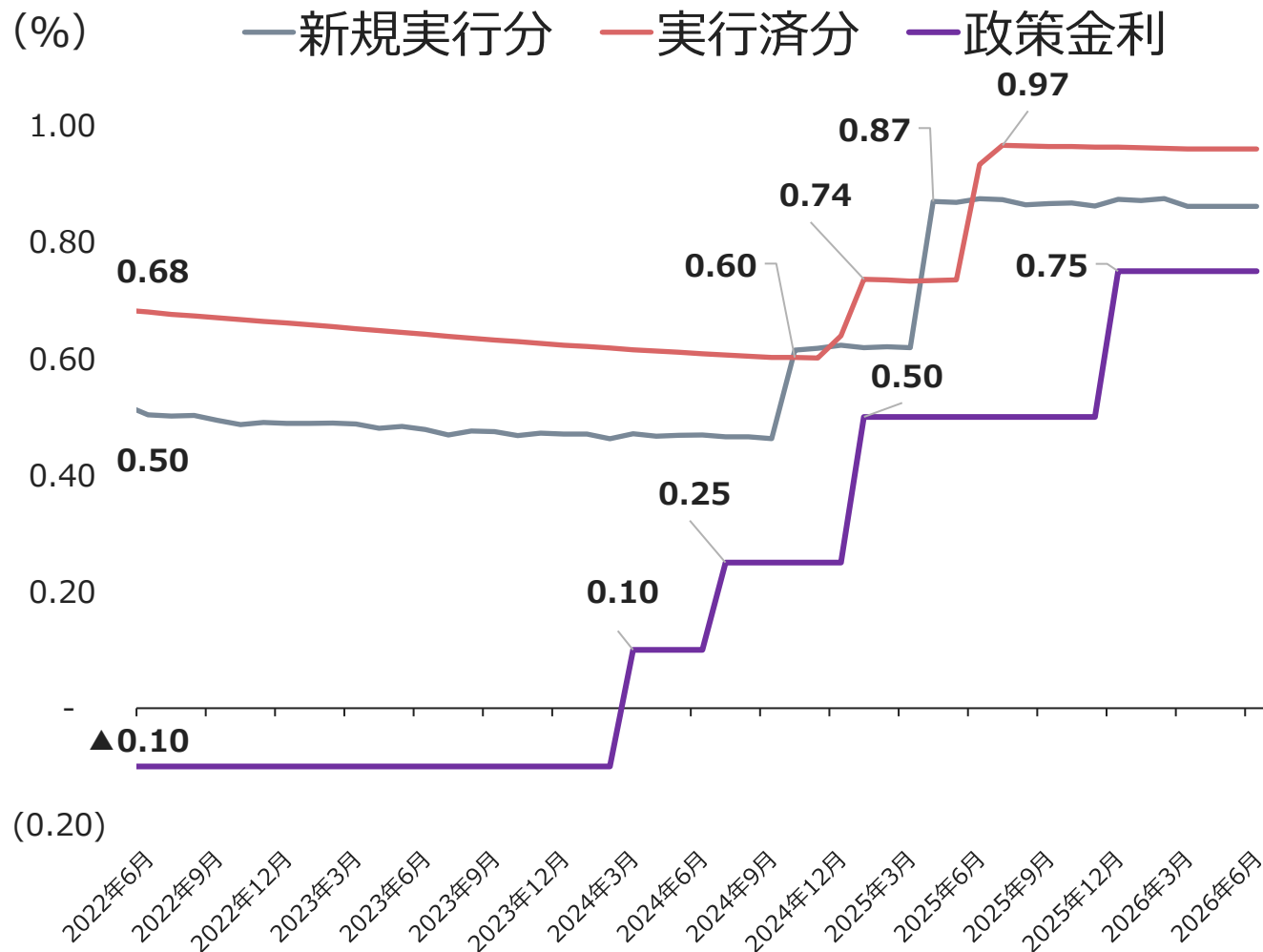
事業性貸出の金利追随状況

事業性貸出の金利は着実に上昇し、収益に寄与

	24/3	25/3	26/3
政策金利	0.100%	0.500%	0.750%
短期プライム レート	1.975%	2.375%	2.625%
プライム連動貸出	1.218%	1.358%	1.690%
固定金利貸出	0.625%	0.695%	0.827%
市場連動貸出	0.511%	1.025%	1.380%

住宅ローンの金利追随状況

変動金利型住宅ローンの割合が高く金利上昇の恩恵を受けやすい



ポイント

実行済みの住宅ローンの内
95.6%が変動金利

実行済住宅ローンの適用金利について

短期プライム
レート改定

住宅ローン
金利改定

お客さまの
適用金利
反映

直近例

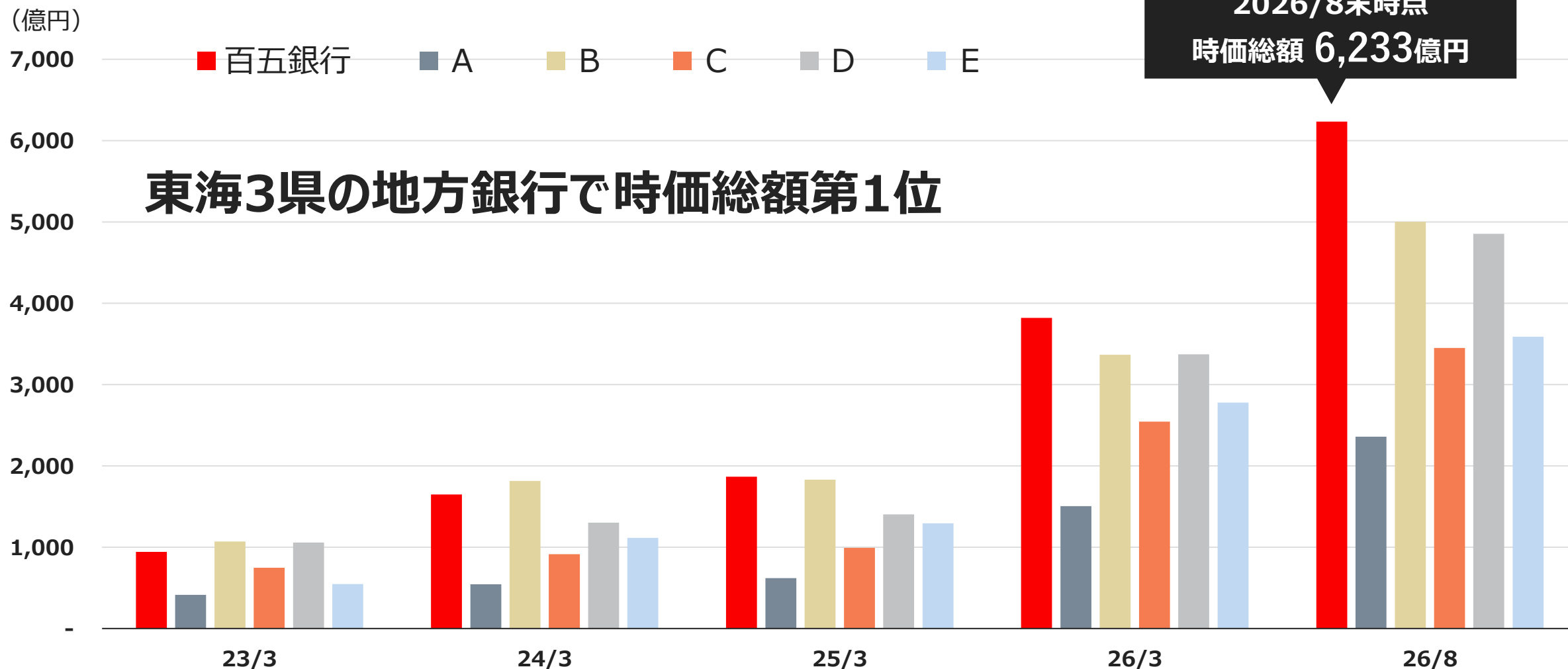
2026年8月3日
引き上げ幅
年0.250%

2026年10月1日
引き上げ幅
年0.250%

2027年1月返済分～
引き上げ幅
年0.250%

金利反映までタイムラグはあるが
住宅ローン金利は着実に上昇

■ 東海3県に本店を置く地方銀行の時価総額推移



※各年月末日時点の株価、発行済株式数から当行作成

中期経営計画(2025.4~2029.3)

未来への挑戦

中期経営計画 KAI-KAKU 150 FINAL STAGE

中期経営計画でめざす姿

本中期経営計画を通じて「頼りにされる銀行」となることをめざす
そのために、行員は「お客さまに信頼され、頼られる人」になる

銀行がめざす姿

頼りにされる銀行

行員がめざす姿

お客さまが夢や未来を
描くとき、
一番に顔が浮かぶ行員

中期経営計画 基本戦略

01 社会価値の創造

地域課題の解決に挑戦し、
経済価値と社会価値の
創出をめざす

02 成長への挑戦

銀行業務の徹底的な効率化と
お客さまへのさらなる価値提供
をめざす

03 人材戦略

主体的なキャリア形成を
通じて「挑戦するプロ
フェッショナル集団」
をめざす

04 デジタルトランス フォーメーション

デジタル/データを活用し、
業務と思考の変革をめざす

05 戦略基盤の強化

ガバナンスの強化、
サステナビリティと
経営の統合をめざす

マテリアリティ



活力あふれる地域づくり
安心と豊かな暮らしへの貢献
一人ひとりが輝ける社会づくり



自然との共生

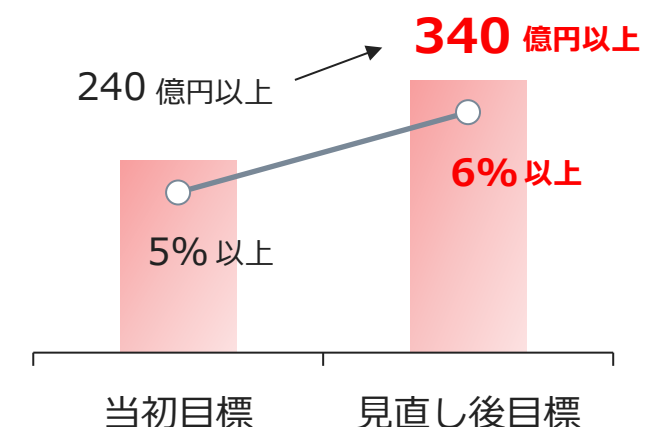
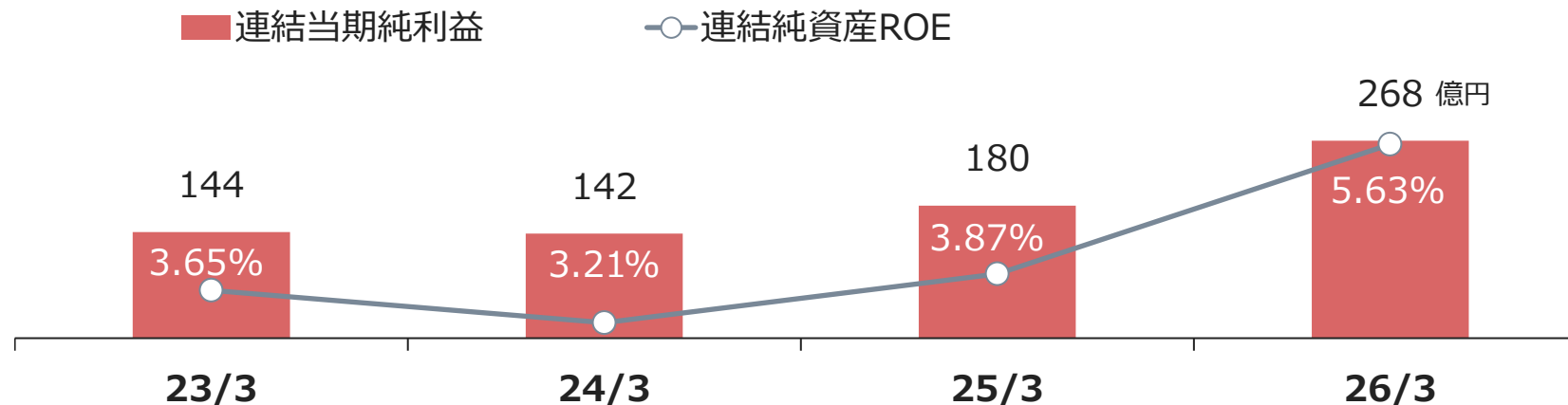


責任ある経営

中期経営計画 財務目標の進捗

外部環境の変化にともない中期経営計画の財務目標の見直しを実施

			政策金利前提0.50%	政策金利前提0.75%
財務目標		26/3実績	29/3目標（見直し前）	29/3目標（見直し後） ※政策金利前提0.75%
	連結純資産ROE	5.63%	5%以上	6%以上 (長期的に8%以上をめざす)
	連結当期純利益	268億円	240億円以上	340億円以上
	サステナブルファイナンス	1兆2,263億円 (うち環境関連融資3,149億円)	2030年度目標 1兆円 (うち環境関連融資5,000億円以上)	2030年度目標 2兆円 (うち環境関連融資5,000億円以上)
実績			29/3目標	



中期経営計画 非財務目標の進捗

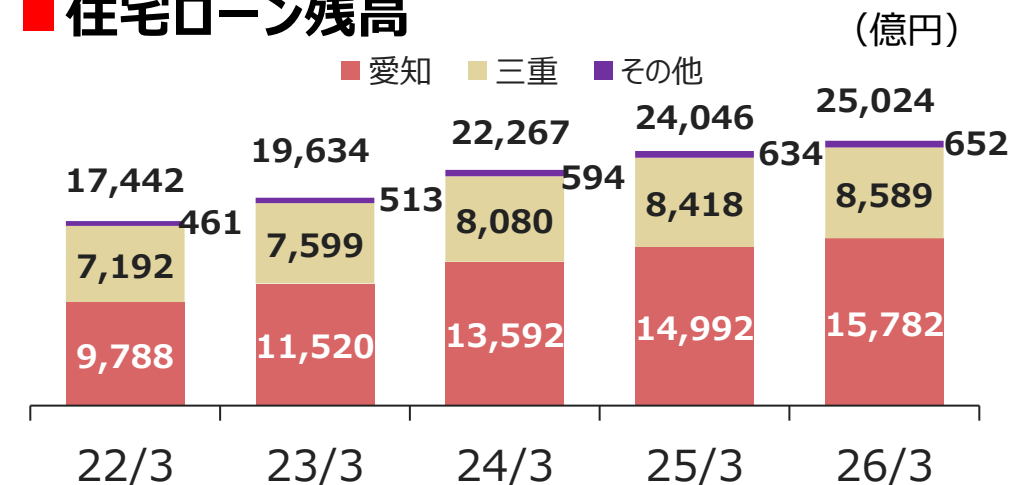
		内容	26/3 実績	29/3 最終目標	中計目標比 進捗率
非 財 務 目 標	お客さまの経営課題解決数	事業承継・DX・人手不足などの課題を解決	累計485件	累計1,000件	48%
	地域課題への関与件数	地域産業の持続的発展を支援	累計8件	累計30件	26%
	預り資産残高 増加額 ※2025年3月末比 銀証合算投資信託残高の増加額	お客さまの資産形成ニーズに応じた提案	314億円 (時価変動分除く)	500億円	62%
	金融経済教育 開催数	学校・地域と連携し金融リテラシー向上に貢献	累計238回	累計500回	47%
	従業員エンゲージメント指数	従業員の主体的な挑戦と働きがい向上	85.0%	85%以上	100%
	女性役職者比率（主任職以上）	多様な視点を経営・営業に反映	23.0%	25%以上	92%
	GHG排出量（Scope1, 2）	脱炭素社会の実現に向けた取組みを推進	2,998t-CO ₂	ネットゼロ	—

愛知県内拠点の充実を通じて住宅ローン残高・契約者数は堅調に増加

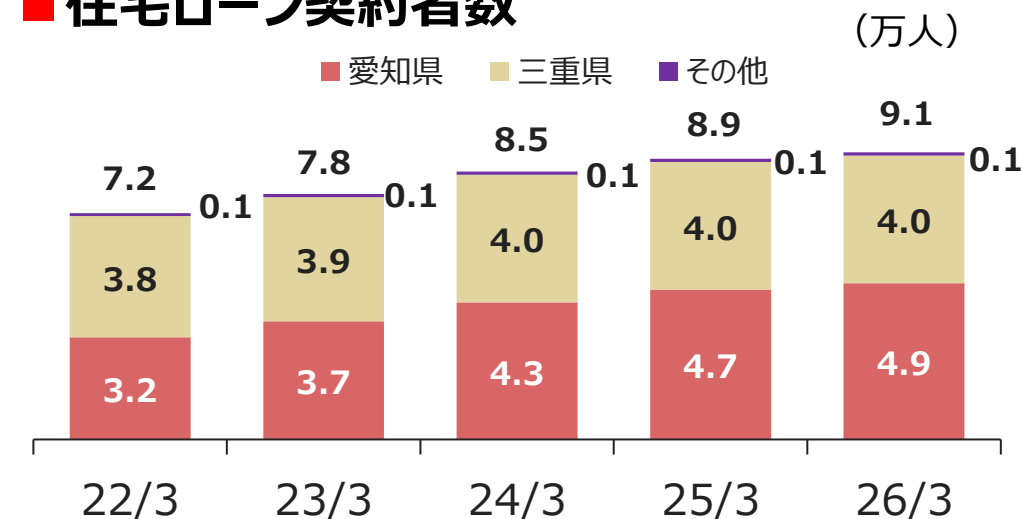
住宅ローン営業拠点



住宅ローン残高



住宅ローン契約者数



銀証合算の投資信託残高増加額は順調に推移

■ 銀証合算の投資信託残高増加額（2025/3末比）

中計最終年度目標 +500億円

2026/3末時点実績 **+314億円**

（時価変動分含まず）

（内訳）百五銀行+162億円 百五証券+152億円

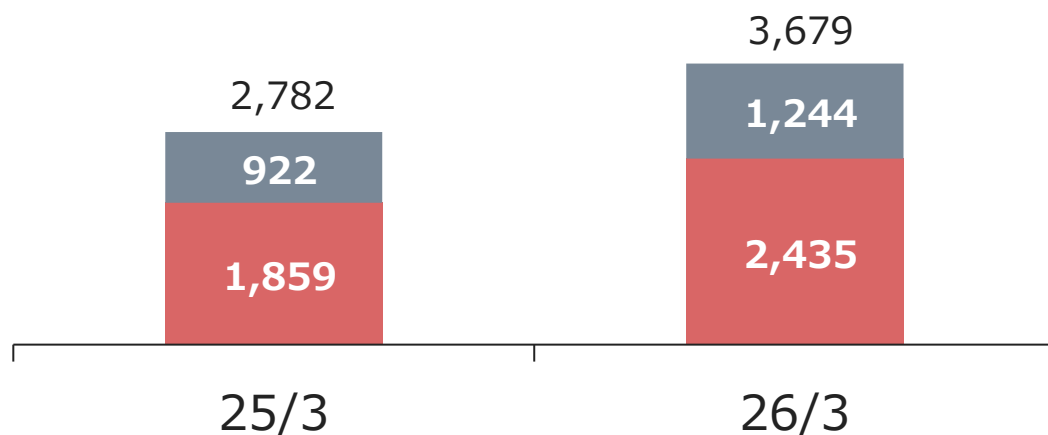
<ご参考>

時価変動分を含む投資信託残高推移

■ 百五証券

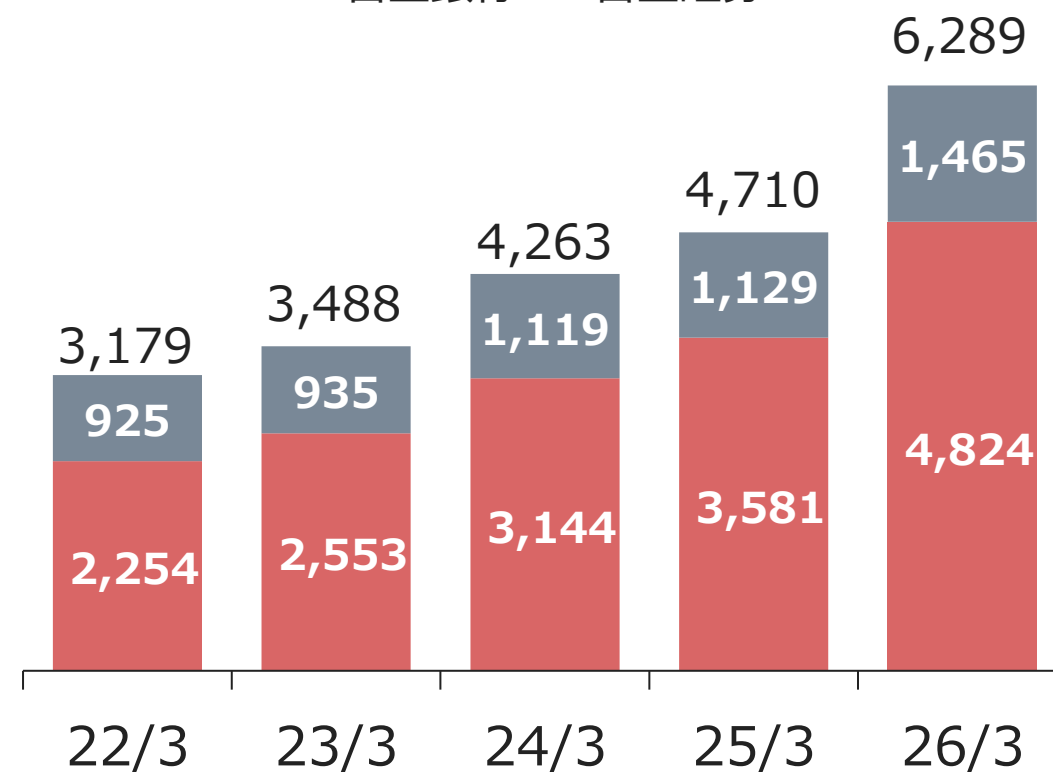
■ 百五銀行

（億円）



■ 預り資産関連残高※推移（百五銀行+百五証券）

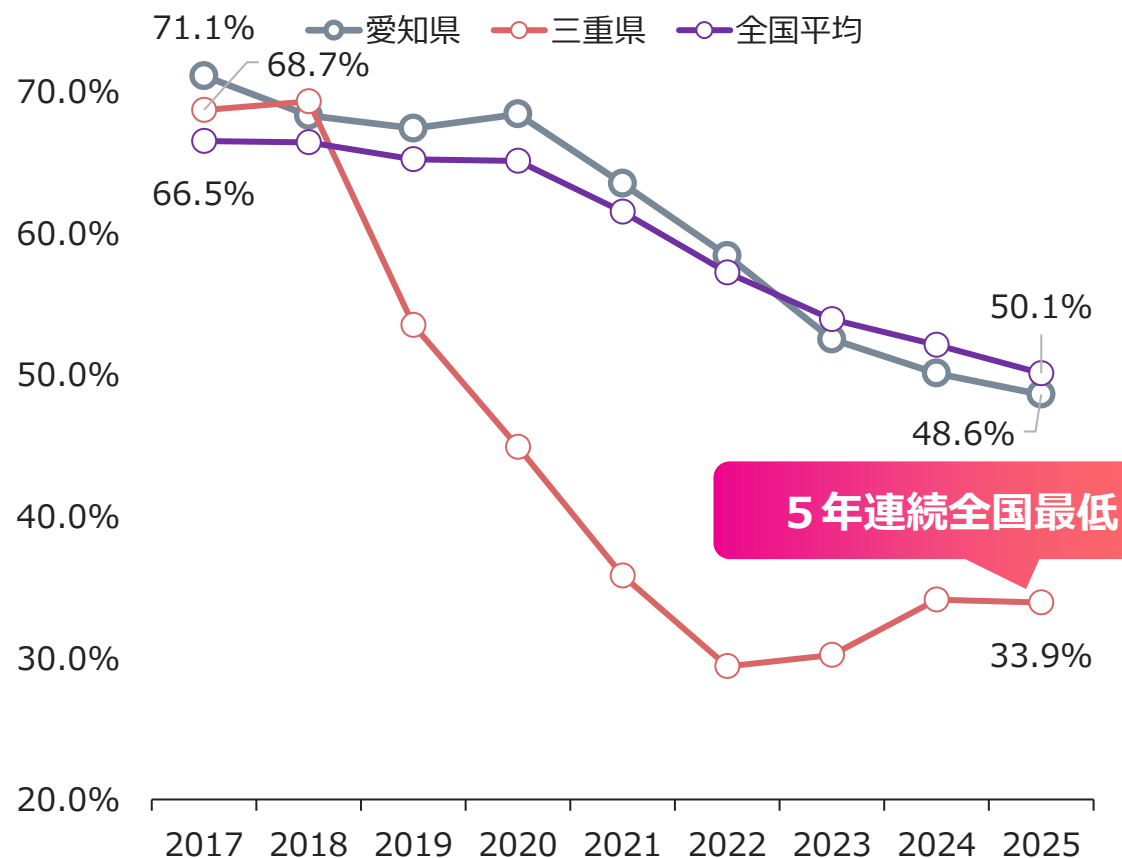
■ 百五銀行 ■ 百五証券 （億円）



※百五銀行：投資信託、証券仲介、保険（年度獲得額）、国債・地方債の合計
百五証券：投資信託、国内債券、外国債券、株式の合計

地域の事業承継における課題解決を支援

■ 後継者不在率の推移



出所：帝国データバンク 全国「後継者不在率」動向調査

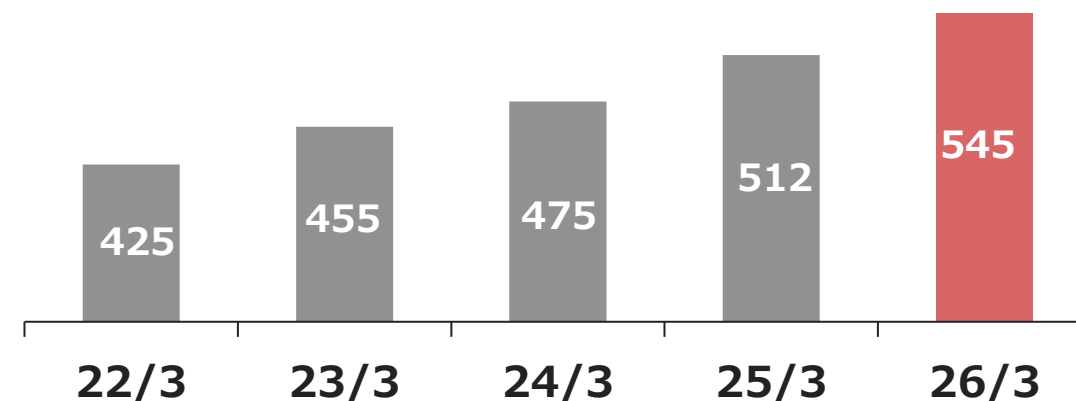
2019年より

百五後継者育成塾を名古屋で毎年開催

会社の未来を担う**後継者・若手経営者**
のための実践型プログラム

卒業生 累計 200名

■ M&A関連手数料推移



PFI事業とは？

PFI（Private Finance Initiative）は、公共施設等の整備・運営に、民間の資金や経営・技術ノウハウを活用する仕組みです。学校、給食センター、庁舎、スポーツ施設など、暮らしを支える社会インフラの整備に活用されています。

パロマ瑞穂スタジアム

PFI事業向け融資で当行が主幹事

- ・愛知・名古屋2026アジア・アジアパラ競技大会のメイン会場
- ・最大124億円のプロジェクトファイナンスを組成



豊明市学校給食センター

PFI事業向け融資で当行が主幹事

- ・豊明市の学校給食を提供
- ・最大11億円のプロジェクトファイナンスを組成



* 施設イメージ

百五スマホバンキングアプリの県外金融機関への販売

アプリ構築支援を行ったBIPROGY株式会社との協業により、金融機関向けに当行バンキングアプリの基盤を提供

アプリ外販先

2026年8月末時点

9 金融機関

旭川信用金庫さま

外販分も含めた
アプリ利用口座数は
100万口座を突破

金沢信用金庫さま

京都中央信用金庫さま

西武信用金庫さま

尼崎信用金庫さま

西京銀行さま

佐賀銀行さま

川崎信用金庫さま

百五銀行スマホバンキング



BIPROGYが開発提供する
バンキングアプリ

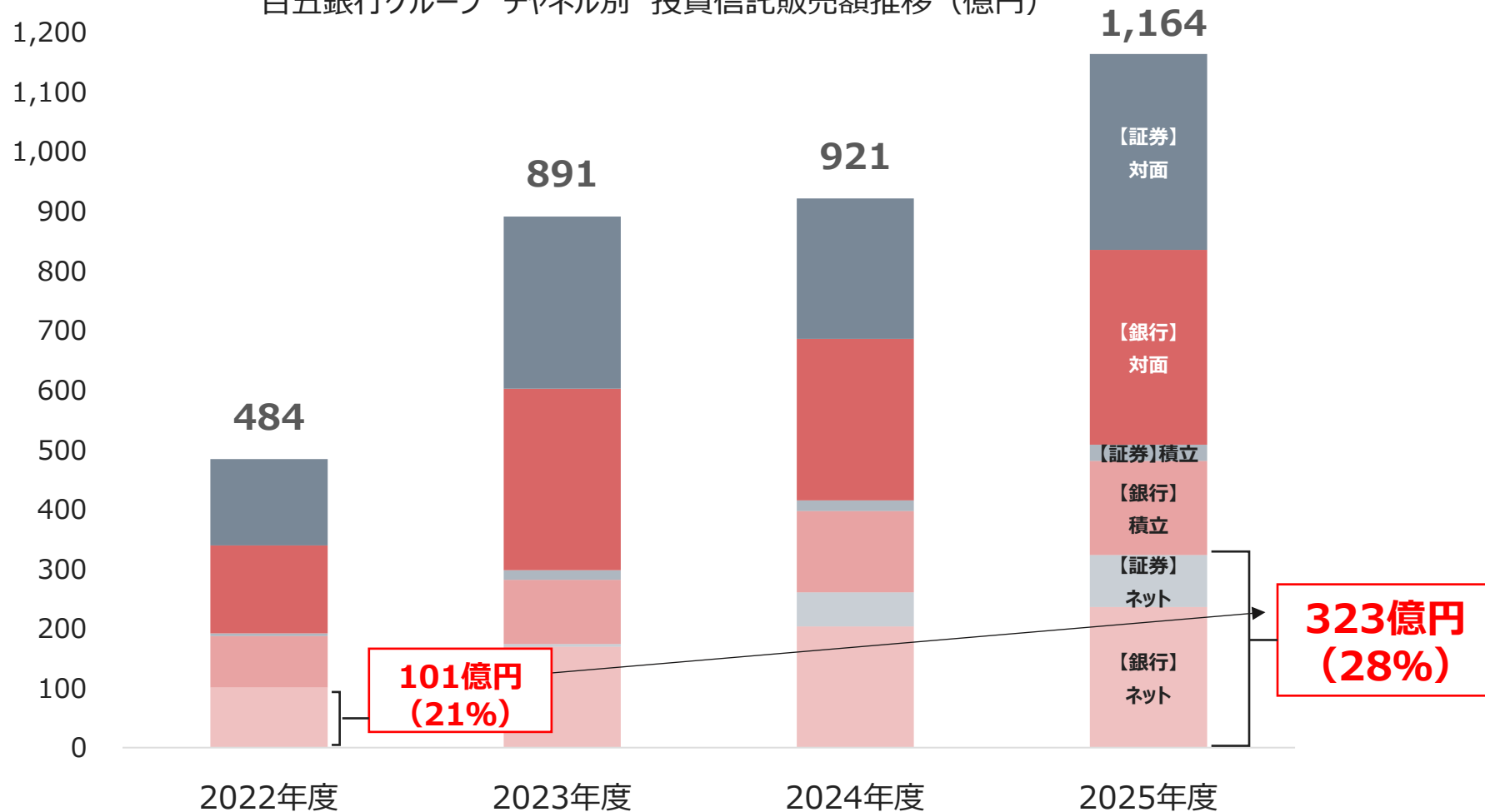


(外販先の内、1金融機関は金融機関名非開示)

かんたん操作 スマホアプリでの投信購入が増加



百五銀行グループ チャンネル別 投資信託販売額推移 (億円)



多様な人材が年齢や性別に関係なく挑戦し、成長できる環境を整える

人事制度改定のポイント

- ◆定年を60歳から65歳へ延長 55歳の役職定年も廃止し、経験豊富な人材の活躍を促進
- ◆若手・中堅の人材についても年齢にとらわれず早期登用し、組織活性化を図る

人事制度改定の全体像



処遇のメリハリ・不公平感改善

- ▶ 職務給割合の引き上げと差の拡大
- ▶ 業績評価（賞与）の見直し
- ▶ 総合職、エリア総合職の賃金差縮小と転居転勤者への手当支給



専任・シニア層の活躍促進

- ▶ 行員の定年延長：60歳⇒65歳
 - ▶ シニア行員（再雇用者）の定年延長：65歳⇒70歳
 - ▶ 役職定年の見直し
- 60歳以降はジョブ型人事制度へ



キャリア自律・挑戦後押し

- ▶ キャリアパス制度の新設
 - ▶ 公的資格等取得褒賞制度の拡充
 - ▶ エキスパート制度※新設と公募異動の拡大
- ※専門性を高めたい行員の異動範囲を限定



人材・働き方の多様化

- ▶ 契約社員の限定正社員化⇒事務領域の人材定着
 - ▶ フレックスタイム制の導入
- より柔軟な働き方の実現⇒長時間労働の抑制

人材・組織への効果

人材面

- ・若手・中堅の挑戦機会拡大
- ・経験豊富な人材の活躍促進
- ・主体的なキャリア形成

組織面

- ・エンゲージメント向上
- ・生産性・専門性の向上
- ・挑戦する企業文化の定着
- ・中長期的な収益力向上
- ・企業価値の向上

プロフェッショナル人材の育成によりコンサルティング力・収益力の持続的強化を図る

■プロフェッショナル人材の育成プロセス

プロフェッショナル資格試験とは

FP 1 級/CFP/中小企業診断士/税理士/社会保険労務士/証券アナリスト/CIA（公認内部監査人）/ 1 級建築士/情報処理安全確保支援士/プロジェクトマネージャーの試験

知識の土台形成

プロフェッショナル資格試験
ITパスポート試験
の合格者増加

プロフェッショナル
資格試験累計合格者数
487人

ITパスポート試験
累計合格者数
870人

発揮能力の強化 実践型研修

営業店・本部・グループ会社
横断での業務経験

トレーニー受講者
178人（のべ）

ジョブトライアル研修
受講者
35人（のべ）

多面評価による 人材認定

資格取得を「入口」とし
業務における発揮能力まで
含めて評価

現時点仮判定
プロフェッショナル人材
68人
中級レベル
794人

真のプロフェッショナル
（目標100人）

中級レベル

初級レベル

こどもまんなかリーディングバンクへの採択

地域全体で「こどもまんなか社会に向けた取組み」をめざす

2026年7月2日

こども家庭庁が実施する令和8年度「こどもとともに成長する企業」
構想推進事業費補助金の第1回公募に応募

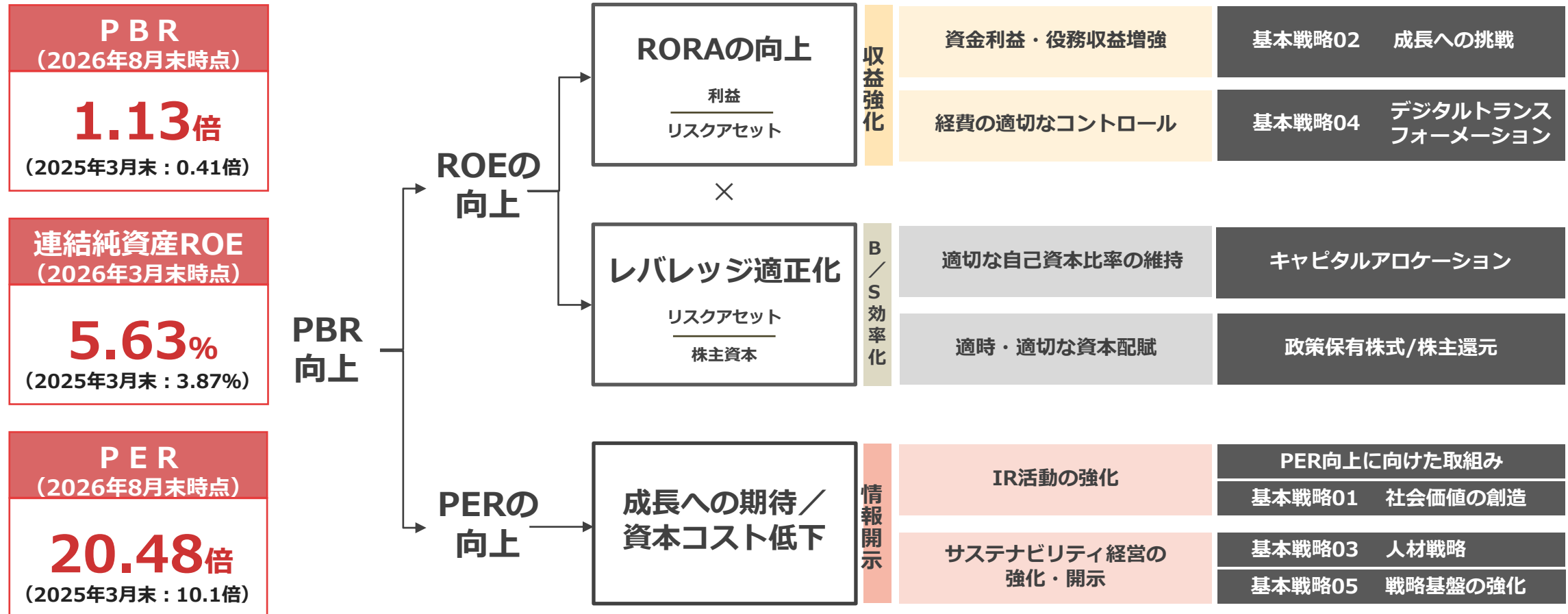
こどもまんなかリーディングバンク※として採択

※当行を含めた全国14の地域金融機関が採択



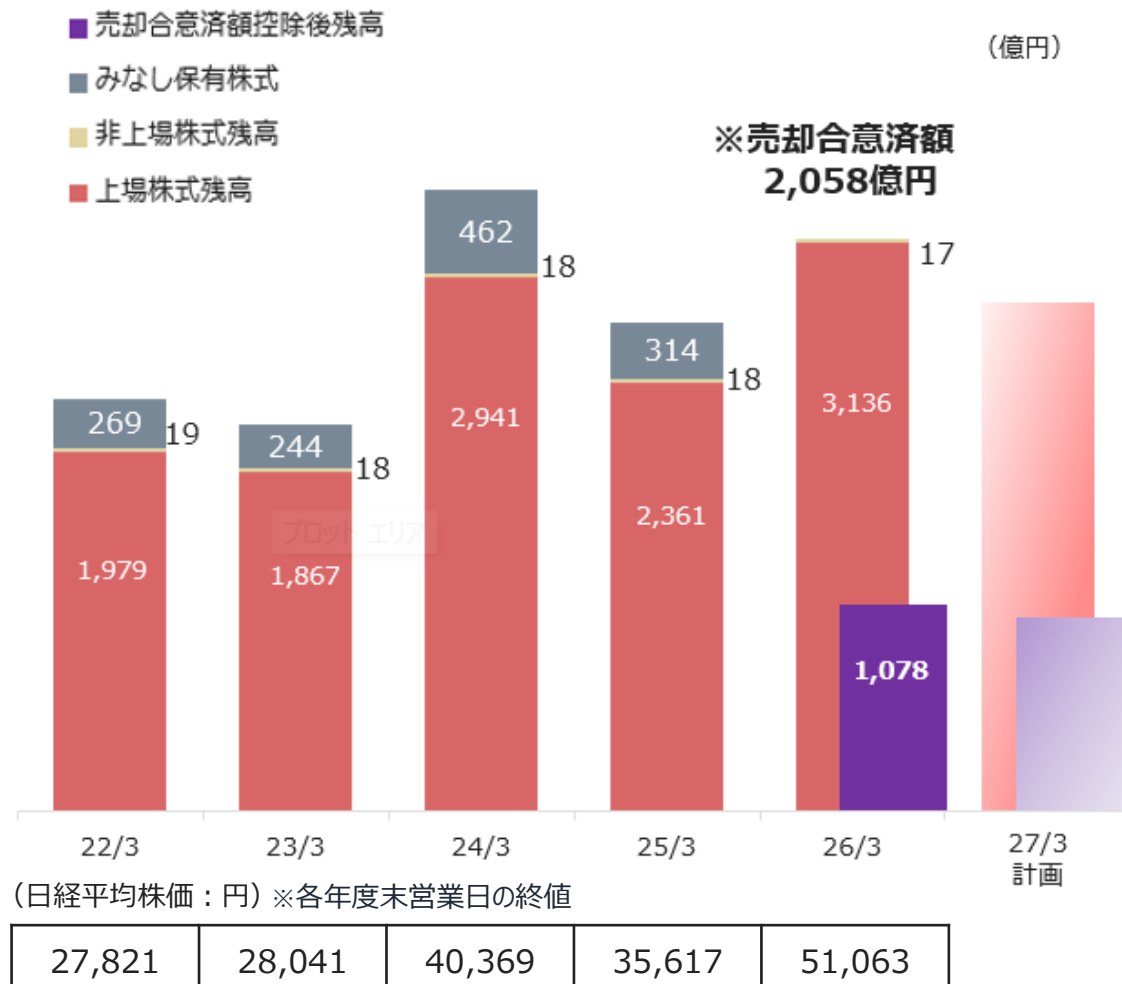
PBR向上へ向けた取組み

中期経営計画「未来への挑戦」における各種施策への取組みを通じて
企業価値の向上をめざす

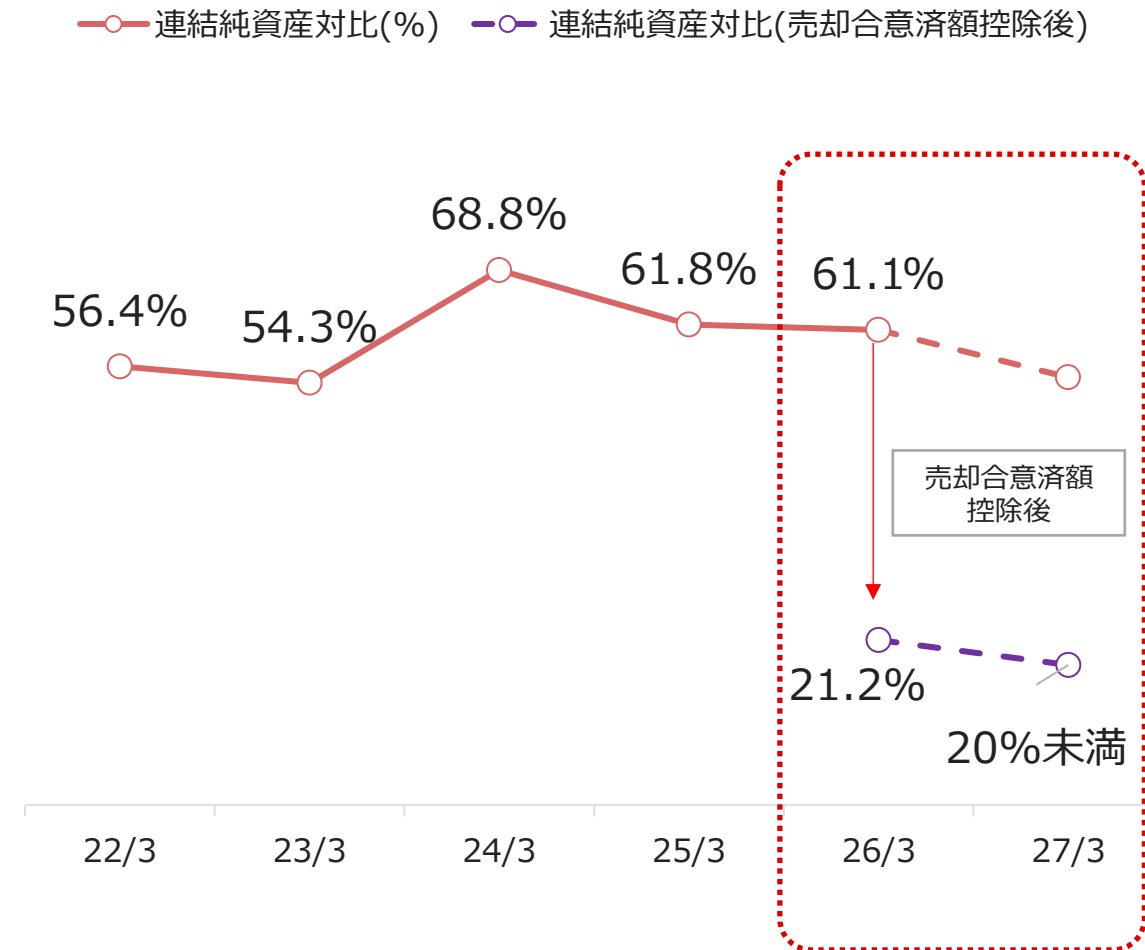


株式保有リスクの抑制や資本の効率性などを勘案し縮減していく方針

政策保有株式の残高（時価）の推移



政策保有株式 連結純資産対比の推移

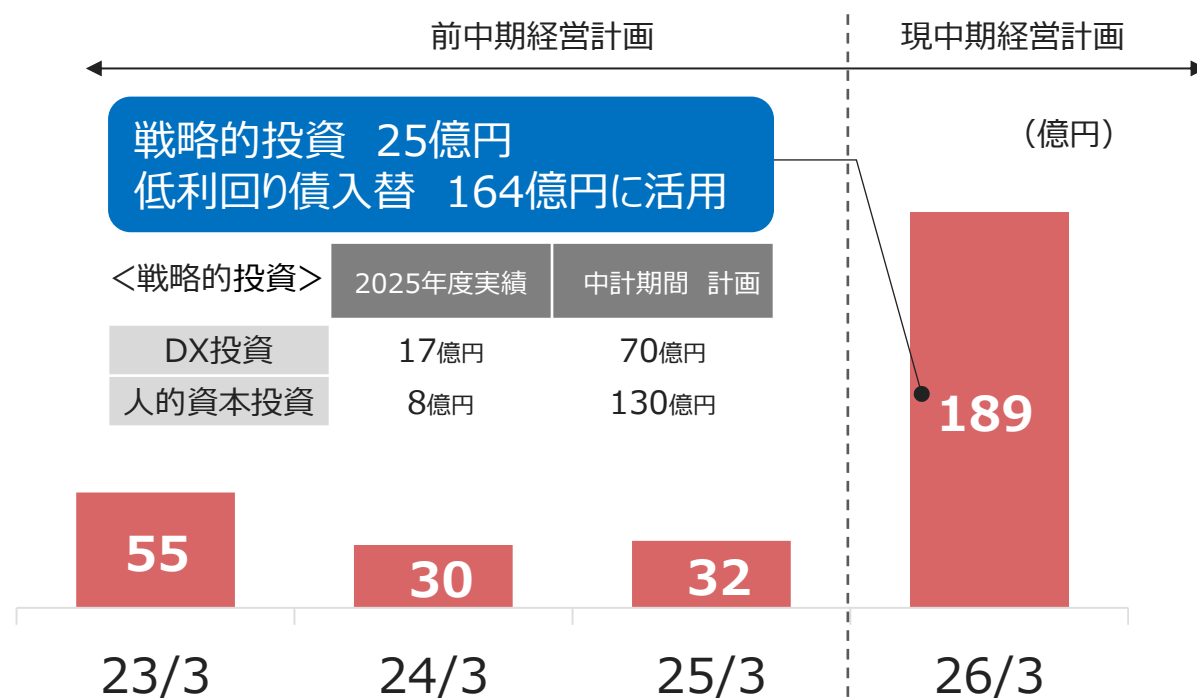


政策保有株式を縮減し、成長投資および低利回り債券の入替えへ活用

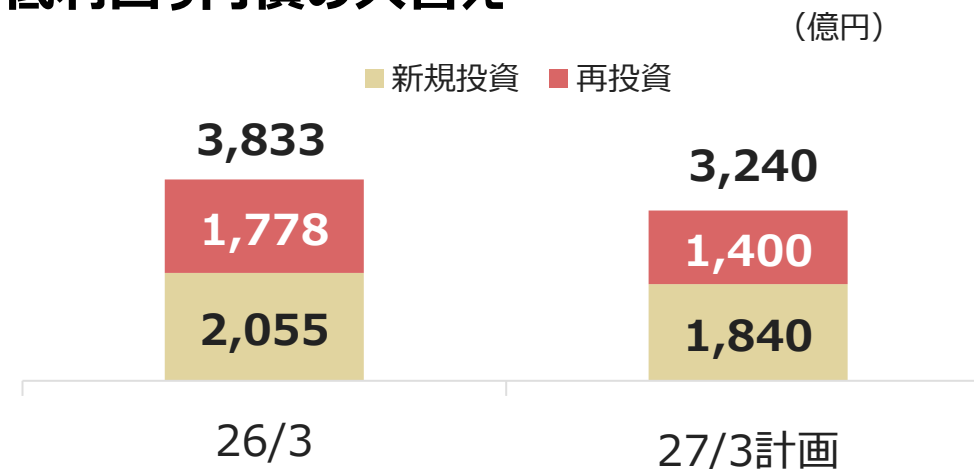
縮減計画（中期経営計画）

2029年3月期までの4年間に
時価ベースで200億円以上削減

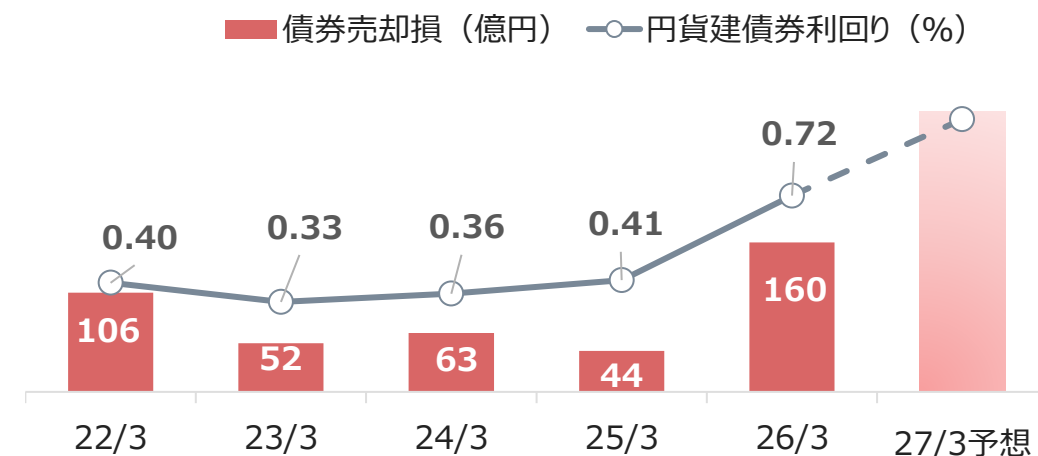
2023年3月期以降の政策保有株式売却額推移



低利回り円債の入替え

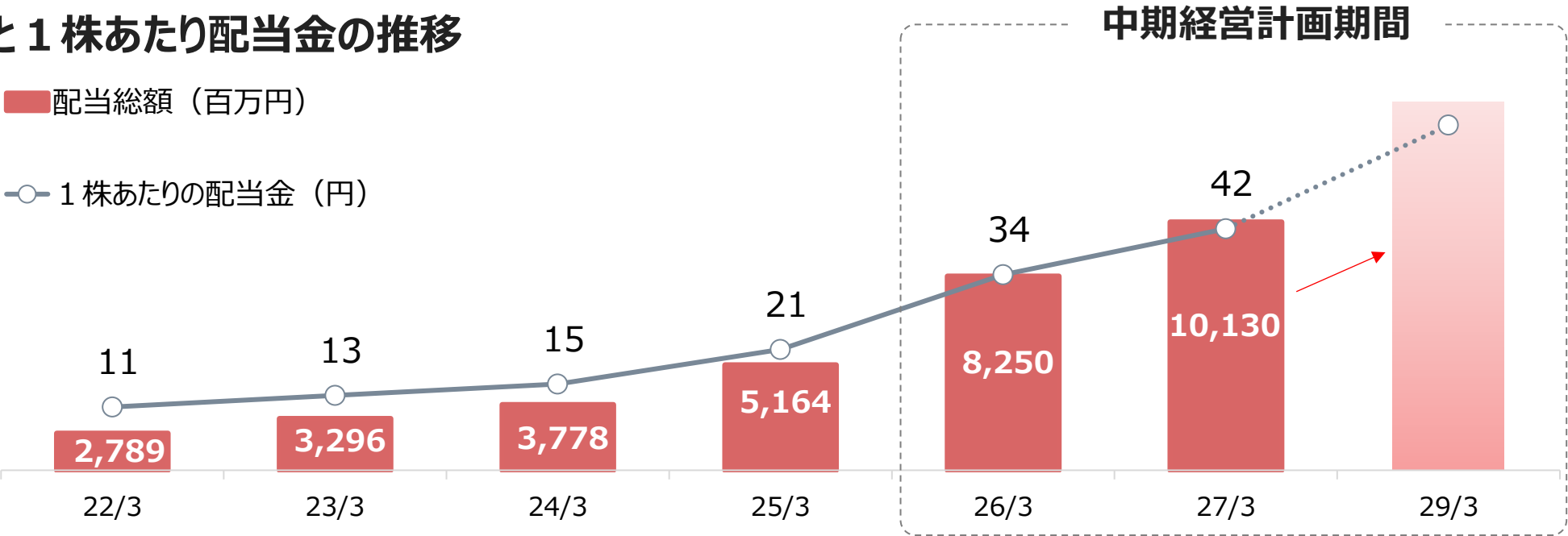


債券売却損と円貨建債券利回りの推移



長期安定配当を基本としながらも配当性向40%をめざし、機動的な自己株取得も検討する

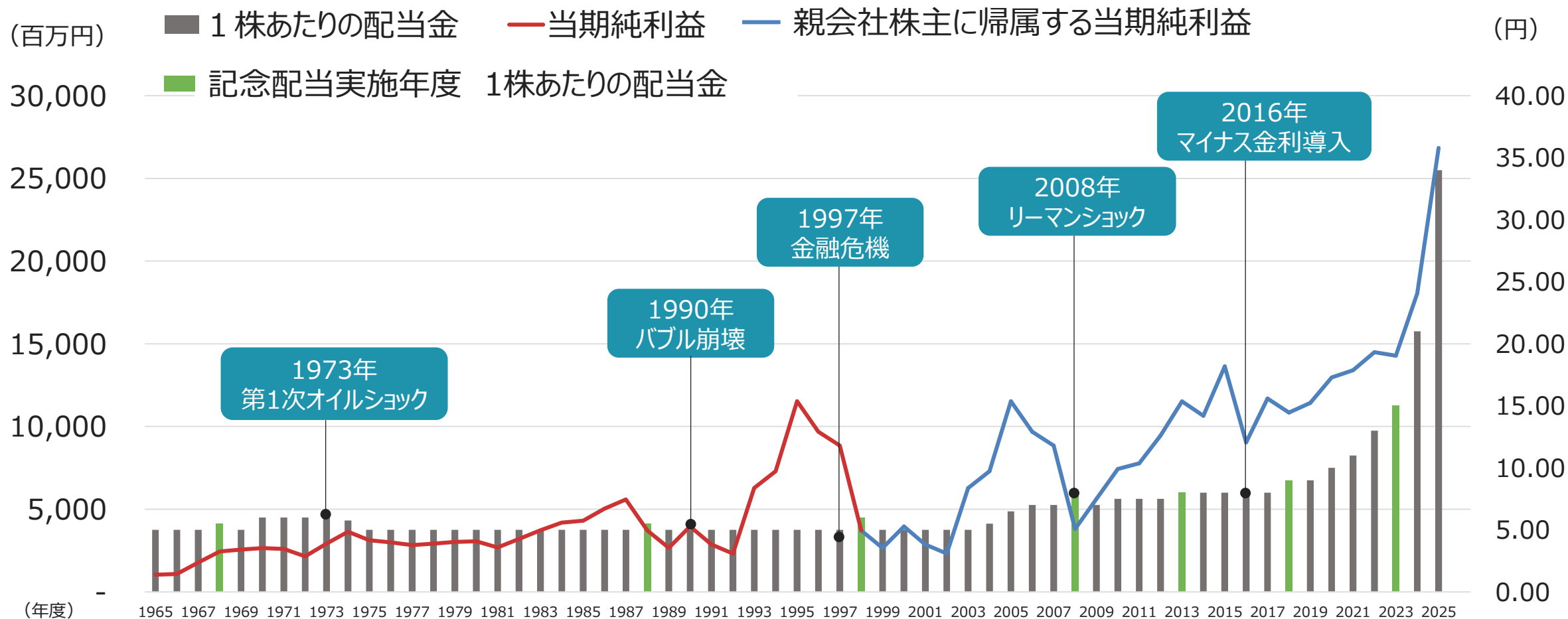
配当金総額と1株あたり配当金の推移



決算期	22/3	23/3	24/3	25/3	26/3	27/3予想	29/3計画 (中計最終年度)
配当性向	20.8%	22.7%	26.6%	28.8%	30.8%	35.3%	40%以上
総還元性向	22.0%	22.7%	43.0%	41.2%	40.1%	43%程度	—
自己株式 取得総額	160百万円	—	2,365百万円	2,260百万円	2,499百万円	2,500百万円	—

さまざまな社会情勢のなかでも当期利益は黒字を確保し、長期安定配当を継続

■ 当期純利益および 1 株あたりの配当金推移



当行では日頃のご愛顧に感謝を込めて、株主さまのご優待制度を導入しています

三重県ゆかりの名産品を掲載した
「株主さまご優待カタログギフト」のなかから
お好みの一品をお選びいただけます

対象となる株主さま

毎年3月31日現在の当行株主名簿に記録された1,000株以上をお持ちのお客さまのうち、株式保有期間が1年以上の株主さま



株式保有期間	お選びいただける特産品
1年以上3年未満	3,000円相当
3年以上	5,000円相当

株主さまに選ばれた優待品ランキング 5,000円コース（過去3年）

順位	2023年	2024年	2025年
第1位	 ミエライス 結びの神・伊賀米	 ミエライス 結びの神・伊賀米	 ミエライス 結びの神・伊賀米
第2位	農業法人モクモク ベーコンウイナーセット	農業法人モクモク ベーコンウイナーセット	農業法人モクモク ベーコンウイナーセット
第3位	伊勢志摩リゾート 鳥羽国際チーズケーキ	伊勢志摩リゾート 鳥羽国際チーズケーキ	伊勢志摩リゾート 鳥羽国際チーズケーキ
第4位	肉の喜多家 松阪牛・あおさ豚焼肉セット	肉の喜多家 松阪牛・あおさ豚焼肉セット	柿安本店 松阪牛しゃぶしゃぶ
第5位	東洋軒 ブラック&シーフードカレー	サンショク 松阪牛入ハンバーグ	サンショク 松阪牛入ハンバーグ



105%の熱量。

本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。

本資料の将来の業績に関わる記述については、その内容を保証するものではなく、経営環境の変化等による不確実性を有しておりますのでご注意ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

百五銀行 経営企画部

広報IR課

ir@hyakugo.co.jp

<https://www.hyakugo.co.jp/>